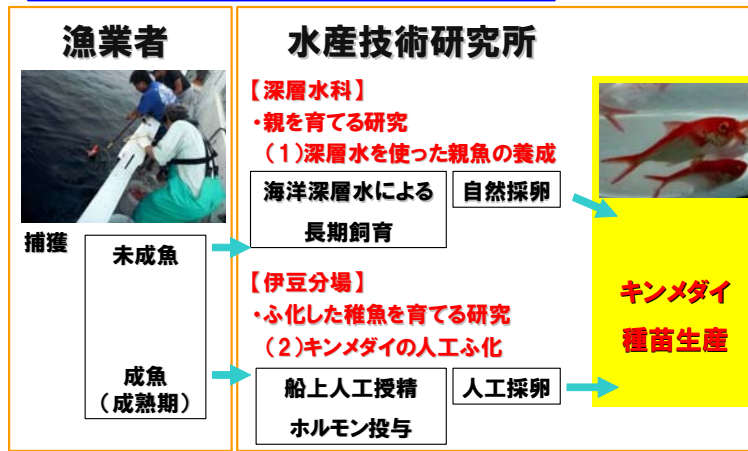


静岡県試験研究 10 大トピックス ( 水産技術研究所 )

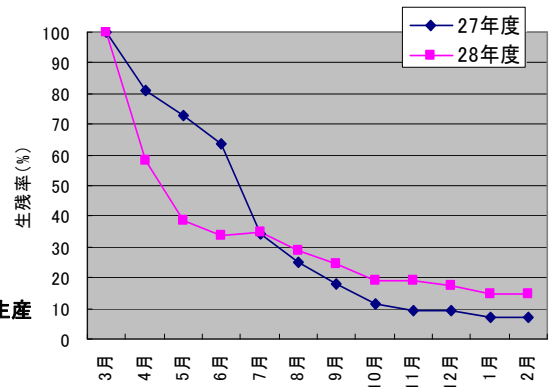
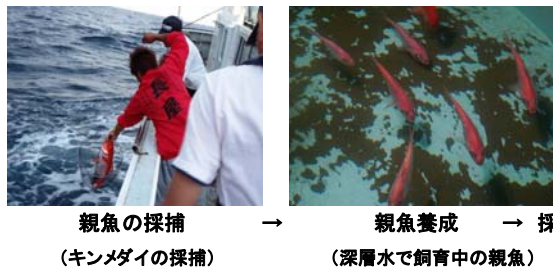
<p>タイトル</p>	<p>キンメダイ種苗生産研究が前進 ー人工ふ化と長期飼育に成功ー</p>	<p>研究課題名 期間</p>	<p>キンメダイの資源添加率向上技術開発研究 H28～</p>
<p>所属</p>	<p>水産技術研究所 深層水科 伊豆分場</p>	<p>補職名 研究者名</p>	<p>主任研究員 中村永介 (深層水科) 上席研究員 野田浩之 (伊豆分場)</p>
		<p>問合せ先</p>	<p>054-620-8911 (深層水科) 0558-22-0835 (伊豆分場)</p>
<p>研究概要</p>	<p>【背景・ねらい】 赤い体に金色の大きい目、キンメダイは静岡県を代表する魚として高値で取引されている。しかし、県内の年間水揚げ量は、近年では2千トン未満とピーク時の7千トンに比べて減少傾向が続いており、漁業者は資源が枯渇することを危惧している。人工的に育てた稚魚を放流して資源を増やす、栽培漁業に対する要望は強いものの、通常 200m以深の深海に棲むキンメダイは飼育することも困難で、全国的にも人工種苗生産の成功例は報告されていない。 そこで、水産技術研究所では栽培漁業の実現に向け、キンメダイの親を育てる研究とふ化した仔魚を育てる研究に取り組んでいる。</p> <p>【成果の内容・特徴】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>キンメダイの産卵期である7～9月に、伊豆半島東岸沖で親魚を捕獲した。船上で人工授精して卵を研究所に持ち帰って飼育したところ約 2,300 尾のふ化仔魚を得ることができた。ふ化後3日目から小型の動物プランクトン (タイ産ワムシ) を与えたところ、4日目には胃の中に餌が取込まれていることを確認し、13 日間の飼育に成功した。さらに、親魚を活かしたまま研究所に運んで採卵することにより、約 1,200 尾の仔魚をふ化させ、18 日間の飼育に成功した。</li> <li>平成 27 年および平成 28 年の3月に捕獲したキンメダイ 113 尾を、親魚候補として焼津にある駿河湾深層水水産利用施設に搬入し、陸上水槽で飼育した。低温で清浄な駿河湾深層水を使って、飼育水温を 10～14℃に保つことで、飼育が難しいといわれるキンメダイを長期間飼育することができた。飼育日数は最長で2年間を超え、飼育特性や飼育下での成熟について新しい知見が得られた。</li> </ol> <p>【成果の活用・留意点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>放流用稚魚の生産のためには、ふ化仔魚の長期飼育技術の開発、飼育下での成熟コントロールといった課題を解決する必要がある。</li> <li>本研究の成果については、関係漁業者に情報提供したほか、学会や漁業者向けの交流大会、一般向けの水産研究発表会などで広く発表している。</li> </ol>		

\* 図、写真などについては次頁に添付をお願いします。

## 研究の進め方



## キンメダイの親を育てる(親魚養成)



深層水によるキンメダイ生残率の推移

人の手で飼育して種苗生産用の親として仕立てる  
 ? 成熟時期のコントロール  
 ? 栄養状態を整える → 良質な卵・精子



写真左 雌親からの採卵作業



写真右 ふ化 10 日目のキンメダイ